

**【東光寺】**

開基は、行基と伝えられ、明治維新の神仏分離までは、三浦富士の鎮守山として当地方11社の神社を管轄した名刹。山門の奥にある本堂は、薬師堂で行基作と伝えられる薬師如来が安置。

**【三浦富士】** (浅間神社奥宮) (標高183m)

正式な山名は富士山(フジヤマ)。武山富士(タケヤマフジ)とも。国土地理院の三角点情報では、点名は「富士山183.1m」。高い山ではないが、山頂からの眺めは素晴らしい。

**浅間神社奥宮：**津久井浜駅の北側に鎮座する浅間神社の奥宮。例祭の7月8日は、江戸時代からの「お炊き上げ」という護摩焚きの行事が行われ、山頂は終日賑わう。

**浅間神社：**第45代聖武天皇の天平(729～749)に、行基が山容が富士山に似ることから、富士山と名付け、駿河国浅間神社を勧進したと伝えられる。当社の奥宮(本宮)は、三浦富士の山頂。祭神は木花開那姫、安産や子育ての守神。

**【砲台山】** (標高204m)

国土地理院の地形図には測量点の標高表示だけで山名は記載されていない。昭和初期に海軍が砲台を築いたことから、砲台山と呼ばれる。すり鉢状の砲台跡(直径10m)は12.7cmの高射砲、2基を設置。側面の8個の四角い穴は、弾薬の格納庫と思われる。隣には海上保安庁の武山受信所が建つ。

**【武山】** (標高200m)

山頂には、オムラサキ、博多白、妙義山のツツジが約2000本あり、毎年四月下旬に「武山つつじ祭」が行われる。屋上展望台からは、房総、伊豆半島、相模湾、そして富士の秀峰に国交省「関東の富士見百景」にも選定。

**武山不動**(龍塚山持経寺武山不動院・浄土宗)：文禄3年(1594)東大寺の僧、万立が三尺九寸(117cm)の不動尊を彫刻し祀ったのが始まりと伝えられている。

武山を漁場の位置や港の方向を知る目印にし、豊漁や海上の安全に霊験あらたかな不動尊として。別名「波切不動」とも呼ばれている。